

会 報 《第428号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和3年 6 月1日

目 次

I 令和3年度定時総会 開催報告 2～5頁

(1) 定時総会の概要

(2) 兵庫県知事、神戸市長からの祝電

(3) 令和3年度役員等一覧表

II 会員寄稿 6～8頁

「陶器を見て楽しむ」

(一社) 兵庫県産業資源循環協会 専務理事兼事務局長 田元 保雄 氏

III お知らせ 行事予定、編集後記 . . . 8頁

IV 広報コーナー ひょうごスタイル、兵庫県住宅再建共済制度

. . . 9～10頁

I 令和3年度 定時総会 開催報告

日 時 令和3年5月12日（水）16時30分～17時

会 場 神戸三宮東急 REI ホテル

令和3年度定時総会が会員15名の出席により開催されました。

その概要を次のとおり報告します。



1 開会 定足数の確認

正会員数	52名（定足数27名）
総会出席者	15名
	議決権を有する者14名
委任状提出者	36名
議決権	50名



2 開会あいさつ 会長 山本 康一郎

本日は、一般社団法人 兵庫県建築会の定時総会にご出席を賜り有り難うございます。緊急事態宣言が継続されており、あらかじめ出席者を制限させていただいた中で、令和3年度定時総会を開催させていただきます。

まずは、会員の皆様には、この場をお借りし当会の令和2年度事業に対しまして、コロナ禍にもかかわらず、ご理解とご協力をいただき、そして、貴重な時間を提供していただきましたことに厚く御礼申し上げます。また、兵庫県当局様及び医療従事者様には、昼夜を問わず治療、予防にご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和2年事業はコロナ禍での活動となりました。やむなく中止した事業も多くありましたが、8月には、皆様の協力の下、特別事業として金澤兵庫県副知事をお招きし、「ポストコロナ時代の兵庫の展望」をテーマにした特別講演会を開催することが出来ました。開催には、多くの兵庫県職員の皆様方の応援並びにご協力をいただきましたことに、心から御礼を申し上げます。

残念なのは、当会の特色である新春会員交流会や一部の月例会は、感染拡大防止の観点からやむなく中止、延期せざるを得ず、皆様にご迷惑をおかけしました。

5月入り、ようやく感染から身を守るワクチン接種が高齢者を中心に始まりました。しかしながら、集団免疫を得るまでに相当の月日が必要と思われます。よって、本年度事業は昨年同様に、コロナ禍での開催と考えられます。万全な感染防止対策の下、昨年延期になった月例会を含め、講師の先生方のご協力により順次開催を予定しております。様々な視点からご講演いただけるよう準備を進めており、楽しみにしていただけたいと思います。

結びとしましては、会員の皆様には本年度も引き続きのご指導、ご支援をお願いいたします。そして、コロナ収束まで、感染リスク回避に努めていただき、健康第一でお過ごしされることを祈念し、開会の挨拶といたします。



3 議事事項

- ◎ 定時総会においては、令和3年度事業計画等3件の報告事項について、また令和元年度決算(案)及び令和2年度役員選任(案)の2件について、説明を行いました。

令和2年度決算につきましては、山田監事から監査報告を行っていただきました。

そして、3件の報告事項についての了承、2件の議案について議決をいただきました。

報告事項1	令和3年度事業計画について
報告事項2	令和3年度収支予算について
報告事項3	令和2年度事業報告について
第1号議案	令和2年度決算(案)について
第2号議案	令和3年度役員選任(案)について



また、報告事項のなかで、令和2年国土交通大臣表彰並びに兵庫県功労者表彰を受表彰されました会員の(株)岡工務店 代表取締役社長の岡榮二様(代理 同社副社長 岡 澄彦様)に記念品が贈呈されました。



4 理事の退任・就任

(退任される役員)

理事(副会長)	福本 豊 氏
理事	浜田 洋光 氏

(就任される役員)

理事(副会長)	出野上 聡 氏
理事	湖亀 一登 氏

◎ なお、令和3年度役員の名簿は5ページに掲載しています。

祝

辞

兵庫県知事 井戸敏三様、神戸市長 久元喜造様から御祝辞をいただきました。

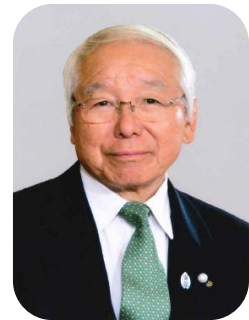
一般社団法人兵庫県建築会 令和三年度定時総会の開催をお慶び申し上げます

建築各界を結び まちづくり分野で常に先導的な役割を果たしてこられた皆様に深く敬意を表します

新型コロナウイルスの感染が拡大しており、会員の皆様皆様におかれましても苦難の日々と存じます。

この状況を一日でも早く収束させ、地域経済を回復させなければなりません。

阪神・淡路大震災から創造的復興を成し遂げてきた本県だからこそ、この危機をともに乗り越えていきましょう。



兵庫県知事

井戸敏三

一般社団法人兵庫県建築会 令和三年度定時総会のご開催をお慶び申し上げます

平素は神戸市政に対しまして またこのたびの新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにご理解 ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

これまでの貴会の取り組みに深く敬意を表しますとともに今後ますますのご発展と会員皆様のご健勝 ご多幸を心よりお祈り申し上げます



神戸市長

久元喜造

令和3年度定時総会におきまして新役員体制が承認されました。
つきましては、この新しい陣容をもちまして、会の進展に最善の努力をしてまいる所存です。
なにとぞ倍旧のご支援ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月吉日

一般社団法人 兵庫県建築会 会長 山本 康一郎

令和3年度役員等一覧表
(事業推進員会は会長以下の役員をもって構成する)

敬称略

区 分	令和3年度役員	
名誉顧問	竹村 章	元 会 長
	瀬戸本 淳	前 会 長
顧 問	佐藤 将年	兵庫県まちづくり部長
	根岸 芳之	神戸市住宅局長
	飯塚 功一	兵庫県住宅建築総合C 理事長
	松田 隆	兵庫県建設業協会 会長
	宮宅 勇二	兵庫県建築士会 会長
	柏本 保	兵庫県建築士事務所協会 会長
	山本 亮三	兵庫県文化協会 理事長
	棚田 肇	元 副 会 長
	石田 邦夫	元 副 会 長
	山本康一郎	(株)山本設計 代表取締役社長
会 長	大木 弘恵	(株)大木工務店 代表取締役社長
	出野上 聡	兵庫県住宅供給公社 理事長
	川端 宏幸	神鋼不動産(株) 常任顧問
	吉本 義幸	兵庫県建築会 事務局長
	岡 澄彦	(株)岡工務店 取締役副社長
	松本 章	(株)明和工務店 代表取締役社長
	北浪 孝一	丸正建設(株) 代表取締役社長
	矢間 照人	(株)新井組 執行役員 本店副本店長
	河野 潤也	兵庫新装サッシ(株) 顧問
	湖亀 一登	(株)黒田建築設計事務所 代表取締役
副 会 長	宮崎 健一	(株)宮崎建設 代表取締役社長
	山田 聖一	(一社)兵庫県建設業協会 専務理事
	立花 充	(株)ノバック 代表取締役社長
	渡邊 勝幸	元 副 会 長
	木村 光利	元 顧 問
	田元 保雄	(一社)兵庫県産業資源循環協会 専務理事
	瀬尾 武夫	(株)宮本設計 代表取締役所長
	前川真一郎	前川建設(株) 専務取締役
	池内 修	(株)池内工務店 代表取締役
	谷口 正樹	(株)家根源 代表取締役
監 事	吉川 壽一	(株)吉川組 代表取締役社長
	坂井 豊	(株)柄谷工務店 常任顧問
	長坂 浩	(株)オフィスナウ 代表取締役
	杉田 健一	(株)森長組 取締役支店長
	安田 宏	双和化学産業(株) 代表取締役
参 与		
幹 事		

Ⅱ 会 員 寄 稿

『陶器を見て楽しむ』

(一社) 兵庫県産業資源循環協会

専務理事兼事務局長 田元保雄 氏

木々が様々な色の違った新葉をつけ、一年の中でも過ごしやすい季節となりましたが、コロナ禍は衰えを見せず、厳しい日常が続いております。

そのような中で、兵庫県産業資源循環協会の事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

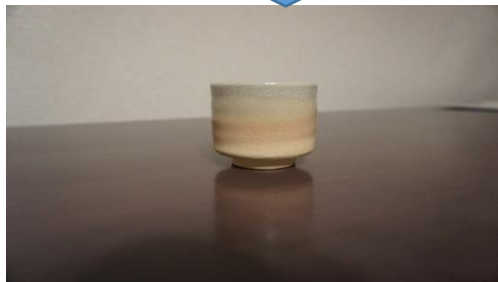
さて、この度寄稿依頼を受け、個人的なことで恐縮ですが、今、私が楽しみにしていることを呟いてみることに致しました。

私は、陶器を見ることに大した知識もなく、立派な器を持っているわけでもありませんが、旅行に行った際に、旅先にある窯元や陶器直販店などに寄り道し、気に入った器があれば買い求めるといったことを楽しみにしています。

元々は陶器に関心がなかったのですが、家内がお茶を習っていた関係で、美術館や博物館等に行く時に、アッシー君として同行し、幾度となく眺めているうちに段々と感化され、そのような機会がきっかけとなり、少しずつ関心を持つようになった気がします。

その後、旅行に行った時などに、旅先近傍の窯元を探して興味本位でお店を覗くようになり、これまでは饅頭か煎餅が定番であった旅行のおみやげが、記念として小皿やぐい呑みを買求めるようになりました。

最初買った焼物は、30年以上経っていますが、萩のぐい呑みです。萩の七化けとか言われているようですが、私にはいつ変化したのか全く判りません。



この山口の旅行以降、旅の醍醐味である温泉、景色、地元の文化財や食事等の楽しみに加えて、旅先で焼物を眺める楽しみが続いております。

焼物に興味を持ち始めたのは、今から25年くらい前でしょうか、県立陶芸美術館で初心者向けの陶芸教室を受講してからです。

受講期間は、土日コースで確か8週間ほどだったと思います。

受講内容は、土練りから電動ろくろを使っでの作陶、釉薬を付けるまでの工程で、受講後は、完成した器を鑑賞して貰って帰りました。

講座は立杭焼きの作家の先生方で、優しく丁寧な指導にあたってください、本当に楽しく学ぶことが出来ました。

当時、同じ教室で受講されていた方が「私は、色々な焼き物の里でこのような教室を受講したが、ここが一番すばらしい。それは土を自由に使って、自由に作らせていただける。こんな教室は他にはない。」とのこと。その方は、中級コースを申し込んだが、当選しなかったのも、初心者コースに入られた方なので、初心者とは思えないお手並みで、自由に作れるのも十分納得できるような方で、大層褒めておられました。

私の方は、当然その方と比べられるような技術もないので、その分先生方から色々と丁寧なご指導がいただけました。

みなさまもし陶芸に少しの興味があつて、お時間が取れるようであれば、県立陶芸美術館の陶芸教室を受講されてはいかがでしょうか。

本当に丁寧に優しく教えてくださるので、とても楽しく学べて、良い思い出になっています。

その時に作った作品がこちらです。悔しいことに、家内の作った器の方が上手に出来上がったので、いまでも自宅で使っておりますが、私が作ったものは、水屋の奥に片付けられてしまい、日の目を見ることがない状態です。

【陶芸教室での作品】



(私の作品は、肉厚で高台が小さくて不安定)



(家内の作品は、菓子鉢などに使ってます)

この陶芸教室を受講してからは、丹波の陶器まつりの際には、今でもその時にお世話になった先生方のお店をのぞかせていただいています。

最近、毎年行けるのは丹波の陶器まつりですが、以前は備前焼き祭り（丹波の陶器まつりと同じ日程がなのでどちらかになることが多かったです）や島根県の出西窯の「炎のまつり」にも出かけておりました。

出西窯は今ではとても人気があり、有名になって、最近では遠方からもたくさんの人が集まりますが、私が行き始めた 20～30 年前頃の「炎のまつり」は、人も多くなく、本当にゆっくりと品物を眺めて、買い物をして、お接待の豚汁とおにぎりをいただいて、周りののどかな景色などを眺めながらゆったりとした時間楽しんでいたのですが、最近では（10 年前あたりから？）、年末年始のバーゲン会場なみに人が押し寄せて、会計をするのにも小一時間待つのは当たり前のような状況となっ

ていました。お祭りの時はいくらか安くなるのですが、このような混雑が嫌なので、数年前からは「炎のまつり」を避けて島根方面に行った時にゆっくり立ち寄っています。

【出西窯の風景】



【出西窯のお気に入り】



(ミルクピッチャーとして使ってます)



大分県日田市にある小鹿田（おんた）焼の窯元を訪れたのは平成 28 年の初秋でした。この年の 6 月の大雨でこの地域は大きな被害が出た後だったと記憶しております。

窯元は小野川という小さな川の上流にあるのですが、本当にこんな奥にあるのかと、車にナビがな

ければ多分途中から引き返したのではと思うような川沿いの細い道を登って行きました。

この時の小野川は、護岸が崩れていたり、木や竹が川に溜まっていたりとひどい状態だったので、こんな状況であればお店も閉められているのではないかと不安な思いで進んで行きました。

集落到着すると、閉められているお店もありましたが、小鹿田焼陶芸館？という施設と 2～3 の窯元が開いていました。

ここは、谷川の水を利用して唐臼という、ししおどしと同じような仕組みで動く道具で陶土を砕いて、土を作っているのが有名です。

このような施設や焼き物を少し見学し、復興支援という気持ちも僅かに働いて、いつもより少し多めに器を買って帰りました。



【小鹿田焼のお皿】

このお皿がその中の 1 つで、今でも飾っております。飛び鉋という技法で作られたもので、いつも見てもきれいな文様だと思います。

まだまだ行ったことのない窯元がたくさんありますが、ぼちぼちと楽しみながら窯元めぐりを続けたいと思っています。

特に、関東方面には行く機会が無く、笠間焼とか益子焼は気になっているので、元気なうちに遠いところへも足を運びたいと思っています。

Ⅲ お知らせ

◎第 493 回月例会

日時：令和 3 年 7 月 8 日（木）

13：00～14：00

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

演題：「職場における熱中症対策」

講師：大塚製薬（株）

熱中症対策アドバイザー 真鍋 晶子 氏

なお、コロナ禍のなか 6 月 14 日（月）の月例会につきましては延期、6 月 24 日（木）の研修交流会につきましては中止とさせて頂くことになりました。

また、これら行事につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて、中止、延期等が想定されます。 変更等のお知らせは郵便、メール等でご案内しますのでご了承ください。

◎黄綬褒章の受章

令和 3 年度春の褒章におきまして、当会顧問で（一社）兵庫県建設業協会会長の松田 隆氏が黄綬褒章を受章されました。おめでとうございます。

（編集後記）

兵庫県におきましても、コロナウイルス感染者数並びに重症者数は高止まりしており、深刻な状況が続いています。

残念ながら、このような状況の中で、6 月の月例会は延期、研修交流会は中止となってしまいました。

本来であれば、六月は新緑に満ちて、衣替えの季節となり、「目に青葉山不如帰初鰹」と読まれたように、鰹が初夏になって北上して初鰹として珍重される季節でした。

しかし、コロナ禍のために家に引きこもりがちで季節感をあまり感じない日々を過ごしています。

ワクチンの接種も始まりました。もう少しの辛抱と考え、会員の皆様には、御自愛いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する 「ひょうごスタイル」

兵庫の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ
新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力をお願いします

I 感染拡大を予防する「日常生活」(ライフスタイル)

1 ウイルスとの共存を意識した生活習慣

- (1)「3密」(密閉・密集・密接)の回避
- (2)身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保(できるだけ2m。最低1m)
- (3)マスクの着用※、咳エチケットの徹底
- (4)手洗い・手指消毒(手洗いは30秒程度、石けん・消毒薬の利用)
- (5)体温測定・健康チェック(熱や風邪の症状がある時は自宅で療養)
- (6)発症時やクラスター発生時に備え、いつ誰とどこで会ったかを記録

※熱中症リスクを考慮し、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合は、マスクをはずす。



2 日常生活の各場面別の行動スタイル

(1) 買い物	☐ 通販、電子決済の利用 ☐ 展示品への接触は控える ☐ レジに並ぶときは、前後にスペース ☐ 計画を立て、1人又は少人数ですいた時間に素早く済ます
(2) 公共交通機関	☐ 会話は控えめに ☐ 混んでいる時間帯を避ける ☐ 徒歩や自転車も併用する
(3) 食事	☐ 持ち帰りや出前、デリバリーも利用 ☐ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避ける ☐ 対面ではなく、横並びで座る ☐ 会話は控えめに ☐ 大皿は避け、料理は個々に
(4) 娯楽・スポーツ等	☐ 公園はすいている時間、場所を選ぶ ☐ 筋トレやヨガは自宅で動画を活用 ☐ ジョギングは少人数で ☐ すれ違うときは距離をとる ☐ 予約制を利用する ☐ 歌や応援は、十分な距離の確保かオンラインで
(5) 冠婚葬祭等	☐ 多人数での会食は避ける ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

II 感染拡大を予防する「働き方」(ワークスタイル)

- ☐ 在宅勤務(テレワーク)、ローテーション勤務、時差出勤の推進 ☐ 会議はオンラインで
☐ 対面での打合せは換気とマスクを ☐ 発熱など体調不良の従業員の出勤を停止 ☐ 職場での「3密」防止

III 自然災害と感染症との「複合災害」への備え(災害文化)

1 「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドライン」の活用

2 複合災害に対応するための事前準備

- ・ 自然災害と感染症との「複合災害」に備え、避難場所・避難所の確認や避難所での対応等について、事前に準備
- ・ 避難判断にあたっては、「マイ避難カード」や「ひょうご防災ネット」アプリを活用

安心をカタチに

兵庫県住宅再建 共済制度

フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ！**

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に		県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に
住宅再建共済 年額5,000円で 再建、補修時等に 最大600万円 給付! ※半壊（損害割合 20%）以上		家財再建共済 単独加入 年額1,500円で 住宅とセット加入の場合 年額1,000円で 購入・修復時に 最大 50万円 給付! ※床上浸水・半壊以上
一部損壊特約 年額500円で 補修時等に 25万円 給付! ※損害割合10%以上20%未満		

※ 住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)

FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 ★加入申込書はダウンロードできます★



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です！